



水の飲み比べをする参加者

県内の水道普及率や安全を保つ仕組みについて解説し、おいしい水ってどんな水?と題して、水の飲み比べを

おいしい水ってどんな水
環境生活センター分析一課

夏季大学一日目の夜、自由集会では「専門家による環境協事業の紹介」と題して、日常生活で気になる「おいしい水」や「メタボ対策」、「輸入食品」について当協会職員が紹介した。身近な話題でもあり、活発な質問を交えながらの自由集会となった。

自由集会 専門家による環境協事業の紹介 「水」「メタボ」「輸入食品」のあれこれ

日常生活で気になるテーマの集会

実施。常温の水と冷水が用意されており、参加者のほとんどは、「冷やした水の方がおいしい」と回答した。同じミネラルウォーターでも、冷やせばおいしい水になることを体感した。

また、講座の中では、家庭でおいしい水のつくり方を紹介。ふたをせず十～二十分煮沸させる煮沸法、一日程度放置する汲み置き法、ミネラルに水を入れ、ふたをとって五分程度攪拌するばっき法などを紹介し、参加者の関心を集めた。

輸入食品検査について、食の安全を守るために、環境生活センター分析三課



写真を使い、検体のサンプリングや分析の様子を紹介

日本の食料自給率が低迷している今日、輸入に頼らざるを得ない日本の食糧事情を概説した後、安全安心を確保する輸入食品の検査について紹介。輸入食品のサンプリングは、採取しやすい手前だけでなく、積み上げられた奥から抜きとる技術や、子どもが口にするおもちゃも食品としての検査対象になるなど、現場写真を

多数使って説明した。参加者からは、放射能の検査依頼や、輸入食品検査の違反率、TPP問題や消費期限と賞味期限の設定方法など、食品に関する幅広い素朴な質問が次々と出された。

特定保健指導「無理なくチャレンジ 脱メタボ」活動報告

万人の食チェック事業 お楽しみ抽選会 自身の「食」傾向を知る食品数チェック

抽選会通じて機運を高める

六月十九日の食育の日を皮切りに、一週間、県内の公衆衛生推進委員が「万人の食チェック事業」に取り組んだ。ここでは、強化期間中の実践結果の報告、夏季大学で行われたおたのしみ抽選会の様子をお伝えする。

毎日の食事は、少なすぎると栄養が不足し、反対に食べ過ぎるとメタボリックシンドロームや肥満を引き起こす原因にもなる。誰もに関わる「食」について、



食品サンプルで適正な食量を確認

健康クリニック健康増進課

「無理なくチャレンジ脱メタボ」と題し、特定保健指導について紹介した。話題のメタボの診断基準や保健指導の種類・内容などを説明し、健康リスクについて学んだ。

関心が集まったのは、「なぜ内臓脂肪がたまるか?」で、原因は食べ過ぎと運動不足。職員は、カロリーの摂取と消費のバランスが乱れている点を強調し、食品サンプルを使いながら、食事指導のポイントを説明。参加者からは、アルコールを飲む場合に気をつけることは?」「特定保健用食品のお茶は効果があるのか」などの質問があり、保健指導は大いに盛り上がった。

自身の傾向を知ることを目的に食品数チェックの実施を呼びかけたところ、県内十九市町公衛協が参加した。強化期間後、各公衛協で記入したカードが回収され、夏季大学(七月十二・十三日)の会場であるグリーンピアせとうちにて集められた。集まったカードは二千百十八枚、全県の推進委員九千二百六十八人に対して実践率は二十二・八%であった。



景品は食に関するグッズなど

「食品数を多く取るために工夫したメニューは何ですか」という設問があり、実践者からはさまざまな工夫が報告された。最も多かったものが、味噌汁やスープといったメニューで、野菜をふんだんに入れて工夫しているという声があった。他にも、サラダや煮物などが挙げられた。多くの記述から、公衆衛生推進委員の健康意識の高さがうかがえた。

公衛協別食チェック事業実践率ベスト3		
順位	公衛協名	実践率
1	竹原市公衆衛生推進協議会	73.56%
2	福山市公衆衛生推進協議会	58.60%
3	大崎上島町公衆衛生推進協議会	55.77%
特別賞	三次市三良坂地区公衆衛生推進協議会	100.00%

6月1日、呉市倉橋町の桂浜海岸で、倉橋地区公衛協をはじめ、倉橋の海とくらしを守る会、小学校、中学校、地元住民、行政、海上自衛隊輸送艦「ゆら」の乗組員などが協力して海岸の一斉清掃を実施した。このような多様な主体での一斉清掃は今年で2年目となる。



⑤ 呉市倉橋地区公衛協【地域団結の海岸清掃】

しまうパイプを引き取ってくれる点だ。地域がひとつになって、桂浜を守っていくという強い思いを感じる取り組みである。

閉会式では、倉橋小学校児童代表が「観光に来る方が桂浜を楽しんでくれるようになったと思う。私たちが住んでいるこの地元の海岸をいつまでもきれいに保っていきましょう。」とまとめた。

閉会式後、輸送艦「ゆら」の甲板で自衛隊員

夏のレジャー客 受け入れ準備

白砂青松を守るキャンペーン



地域みんなで守る桂浜海岸。右上は自衛隊の輸送艦

からぜんざいが振舞われ、清掃参加者はきれいになった桂浜の景色とぜんざいの味を堪能した。

「公衛協や倉橋の海とくらしを守る会では、これまでのような定期的な清掃活動も継続していく」と公衛協会長の森本勝利さん。キャンペーンや定期清掃を通じて、遊びに来る人たちに「きれいな浜だ」「また遊びに来たい」と思ってもらいたいという思いを持っていただけるよう、活動を続けていきたいと思いを語られた。

(地域活動支援センター)

万葉集にも詠われた桂浜は「日本の白砂青松100選」「日本の渚・百選」に選ばれており、古来より倉橋地区の歴史や文化を物語る松原であると同時に、観光拠点でもある。

これまでは各団体がそれぞれ海岸の清掃を行っていたが、平成23年、海上自衛隊の声かけがきっかけとなり、さまざまな団体が合同で実施する海岸清掃が企画された。

当日は約200人が集まり、およそ40分の清掃作業に汗を流した。分別は、燃えるごみ、ビン、カン、かき養殖パイプの4分別。約850kgのごみが集まった。

倉橋の清掃活動の大きなポイントは、地元水産業者が活動に参画しており、かき養殖で流出して

平成24年度 専門研修 広報・ツールづくりコース

公衛協活動をPRしていくツールづくりのノウハウを体験を通して学ぶことで、広報担当リーダーの養成を行い、公衛協活動の活性化を目指します。 *詳細については、お問い合わせ下さい。

対象者：市町公衛協及び地区・支部公衛協の事務担当者、広報担当者、その他必要と認められる関係者

定員：東広島会場30人 福山会場40人

参加費：無料(会場までの交通費は自己負担)

時間：10:00～16:00

日付/会場：右表のとおり

東広島会場 平成24年9月27日(木)
株式会社 広島テクノプラザ 第1研修室
(東広島市鏡山3-13-26 電話：082-420-0500)

福山会場 平成24年9月28日(木)
財団法人広島県環境保健協会 東部支所 3階会議室
(福山市山手町5-32-26 電話：084-952-0007)